

学校通信



# みわ道

～学校・家庭・地域は「共育」のパートナー～

令和2年9月10日発行  
 筑前町立三輪小学校  
 所在地：筑前町新町400  
 TEL：0946-22-2215  
 文責：校長 東野 正美

## 自分だったら友達にはどうしてほしいかを

国内外の感染状況を見据えると、新型コロナウイルス感染症については長期的な対応が求められることが見込まれている状況です。こうした中でも、持続的に子ども達の学びを保障するために、本校でも学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を行っています。

ところで、新聞やテレビ、ネット等で報道が行われているように、感染した人や症状のある人達が心ない言葉をかけられたり、不当な扱いをされていたりしているという事例が各地で起きているということです。

もしそのような事例が本校、またはこの筑前町で起きたら……。我が子がその当事者になったら……。そのような不安の中で、子ども達は安心して学びに向かうことはできないと思っています。

そこで、8月に配付された萩生田文部科学大臣からの「児童生徒等や学生の皆さんへ」を学校便りと一緒にお配りします。四角で囲んでいる部分を中心に、子ども達には9日の朝、全校放送で伝えていきます。再度、お子さんと一緒に読んでいただき、自分だったら友達にどうしてほしいかなど、お子さんとお話をしていただきたいと思っています。裏面には「保護者や地域の皆様へ」のメッセージもつけています。合わせてお読み下さい。子ども達の学びを守るために、ぜひよろしくお願い致します。

## 「減災」の意識を

台風10号は、各地に大きな被害をもたらしていました。宮崎県では、不明の方の捜索が続いているとのことです。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧を願っています。

今回の台風に備えて、役場から配られているハザードマップを改めて見た家庭も多かったのではないのでしょうか。今後も、台風やその他の災害が発生するかもしれません。災害が起こったときの備えをして、災害による被害をできるだけ小さくする事前の取り組みを行い、「減災」への意識を大切にしていきたいと思っています。

## 着衣水泳を体験

各学年の水泳学習が終わった今週、4年生は着衣水泳（ちゃくいすいえい）を行っています。水難事故対応策の一つとして、「浮いて待て」という言葉があります。命を守るための体験学習の大切さを感じました。



実際に水の中で体験を

## ☆「みわ道」の子☆

8日（火）、ほたる保存会の方のご協力のもと、学校運営協議会の委員さん方にもおいただき、3年生がホタルの幼虫を草場川に放流しました。この学習は、本来でしたら小中連携授業として三輪中生と行っていたのですが、感染症拡大防止のため、今回は3年生だけで行いました。「大きくなってね。」「来年会おうね。」という子ども達の声に、命のつながりを感じました。



来年、ホタルに会えるのが楽しみです。